

2027 年度 4 月入学
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
博士後期課程学生募集要項

2026 年 5 月

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

目次

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程学生募集要項

1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 個別の出願資格審査	2
4. 願書受理期間及び提出書類	5
5. 志望研究領域の選定	10
6. 試験日程・試験場所	10
7. 入学者選抜方法	11
8. 受験に際しての注意事項	11
9. 合格者発表	11
10. 試験の成績開示について	12
11. 個人情報の取扱いについて	12
12. 入学料及び授業料	12
13. 優秀な私費外国人留学生に対する授業料免除制度（特待留学生授業料免除制度）	13
14. 長期履修学生制度	13
15. 安全保障輸出管理について	13
16. 障がいのある学生への支援（合理的配慮）について	13
17. 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻入学試験会場案内	14

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程概要

1. 保健学専攻アドミッション・ポリシー	15
2. 課程	15

別表. 指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧(博士後期課程)	17
---------------------------------	----

2027 年度 4 月入学 大阪大学大学院医学系研究科
保健学専攻 博士後期課程 学生募集要項

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程の 2027 年度 4 月入学者を次のとおり募集します。

1. 募集人員

保健学専攻	26 名
統合保健看護科学分野	(13 名)
医療画像技術科学分野	(8 名)
医療検査技術科学分野	(5 名)

()は保健学専攻の募集人員の内数。

募集人員には、3 分野ともに「臨床工学技士指導者育成プログラム 若干名」を含む。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、又は次の各号のいずれかについて 2027 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年 9 月 1 日文部省告示第 118 号)
 - ① 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2027 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者。

注 1) 出願資格(6)、(7)、(8)により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査(「3. 個別の出願資格審査」参照)を行い、出願資格を認められた者のみが出願できます。

注 2) 出願資格(7)により出願しようとする者は、「3. 個別の出願資格審査」の記も参照してください。

3. 個別の出願資格審査

「2. 出願資格」の(6)、(7)、(8)により出願を希望する者は、出願に先立ち個別の出願資格審査を行いますので、指定期間内に下記書類を医学系研究科保健学事務室教務係(以下、「教務係」という)へ持参または郵送してください。

受付期間:

持参の場合	2026年7月29日(水)午前9時～2026年8月4日(火)午後3時(期限厳守) 土日を除き、各日、午前9時～同11時、午後1時～同3時
郵送の場合	2026年7月29日(水)～2026年8月4日(火)の消印(日本国内に限る)のあるものに限り受理します。必ず「簡易書留速達」郵便で封筒の表に「後期課程出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。 宛先：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7 大阪大学大学院医学系研究科保健学事務室教務係

資格審査申請に要する書類等一覧<<2. 出願資格の(6)、(7)に該当する者>>:

書 類	内 容
1. 出願資格審査申請書	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙を使用してください。
2. 出身大学の卒業証明書及び成績証明書	廃校などにより出身校の成績証明書を得られない場合は、学校長からの公印が押された「単位修得証明書」と「成績証明書を発行できない旨の文書」を提出してください。「単位修得証明書」も得られない場合は、学校長からの「単位修得証明書を発行できない旨の文書」を提出してください
3. 研究業績調書	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙を使用してください。
4. 既発表の代表論文	原著で査読のある論文1編を提出してください。
5. 在職期間証明書	実務経験のある方のみ、当該勤務機関等の所属長による証明を提出してください(様式任意)。 ※出願資格審査申請書の実務経験欄に記載したすべての経歴についてそれぞれ提出してください。
6. 返信用封筒	封筒(長形3号)に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し760円分の切手を貼付してください。

資格審査申請に要する書類等一覧<<2. 出願資格の(8)に該当する者>>:

書 類	内 容
1. 出願資格審査申請書	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙を使用してください。
2. 最終学歴の卒業(修了)証明書又は退学証明書	

3. 高等学校等卒業後の在籍学校にかかる成績証明書	
4. 研究業績調書	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙を使用してください。
5. 既発表の代表論文	原著で査読のある論文 1 編を提出してください。
6. 在職期間証明書	実務経験のある方のみ、当該勤務機関等の所属長による証明を提出してください(様式任意)。 ※出願資格審査申請書の実務経験欄に記載したすべての経歴についてそれぞれ提出してください。
7. 返信用封筒	封筒(長形 3 号)に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し 760 円分の切手を貼付してください。
8. 当該学校の入学資格、卒業又は修了に必要な修業年数・単位(時間)数のわかる書類	下記 I の(オ)に係る最終学歴(退学を含む)を有する者のみ提出してください。

※書類提出後、必要に応じ個別に書類の追加提出を求める場合があります。

※資格審査書類に不備がある場合は、原則として受理しません。また、資格審査書類提出後は原則として記載事項の変更は認めません。

※日本語または英語以外の言語で記載された書類を提出する場合は、日本語または英語の翻訳を添付してください。

※出願資格審査の結果は、本人に書面(簡易書留)で通知します。2026 年 9 月 16 日(水)までに審査結果が届かない場合は、教務係(i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp)までメールで問い合わせてください。9 月 17 日(木)までに問い合わせがない場合は、受け取ったものとして取扱います。

記

修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者の個別の入学資格審査
文部科学大臣の指定した者として定める「大学院の入学に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者(平成元年9月1日文部省告示第118号)(出願資格(7)を参照)」の文言中、次の文言について、それぞれに規定する解釈により個別の審査を行い、該当することとなっている者を以て適格者とする。

- 1「大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了」とは、本研究科において「大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の個別の出願資格審査」を行い、適格と判定されたものを加える。(＊)
- 2「大学、研究所等において」とは、短期大学、外国の大学の日本分校、外国人学校その他国内外の教育・研究・臨床施設等を加えることができる。
- 3「研究に従事」とは、国際的活動、臨床実務に従事した時間を加えることができる。
- 4 既発表の代表論文(原著)一編
- 5「当該研究の成果等」とは、学術論文、著書、研究発表、特許(実用新案を含む)等のほか国際的活動の実績、教育・研究・臨床施設における特異な実績等をいう。

本研究科において行う「大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の個別の出願資格審査」(＊)

I 審査対象者の基準

次の左欄の学校の卒業、修了又は退学者で、右欄の期間の実務経験者を有する者(見込も含む)とする。

最 終 学 歴	実務経験等の期間(※)
(ア) 修業年限2年の短期大学の卒業生	2年以上
(イ) 修業年限3年の短期大学の卒業生	1年以上
(ウ) 高等専門学校卒業生	2年以上
(エ) 修業年限が2年以上の専修学校の専門課程の卒業生	大学卒業までの最短修業年数(16年)から専門課程を置く専修学校の修業年限を控除した期間以上
(オ) 外国の大学の日本校、外国人学校、専修学校(専門課程を除く)、各種学校その他国内外の教育施設の卒業生又は修了者	大学卒業までの最短修業年限(16年)から最終学校卒業又は修了までの最短修業年数(入学資格を同一とする学校を複数卒業又は修了している場合は、修業年限の最長のもののみ採用)を控除した期間以上
(カ) 上記の(ア)から(オ)までに掲げる学校の退学者	大学卒業までの最短修業年限(16年)から当該退学した学校の退学時までの修業年数を控除した期間以上。ただし、退学時までの標準履修単位(時間)数を修得していない場合は、修得単位(時間)数の相当年数を以て修業した年数とします。

※実務経験等の期間とは、以下の(1)～(5)の期間を合算したものをいいます。

- (1) 大学又は短期大学において、研究生として在学した期間
- (2) 短期大学及び高等専門学校に置かれた専攻科等に在学した期間
- (3) 大学・短期大学、官公庁、研究所、会社等の教育又は研究開発部門に教育職又は研究職として

- 研究に従事した期間
- (4) 病院等における臨床実務に従事した期間
- (5) 前各号に定める以外の期間については、当該期間毎に審査し、それぞれに一定の換算率を乗じて得た期間

II 審査の基準

最終学歴、成績、実務経験の内容等を総合的に勘案して行います。

4. 願書受理期間及び提出書類

入学志願者は次に示す「出願に要する書類」等を取り揃えのうえ、願書受付期間内に教務係へ持参又は郵送してください。なお、出願前に指導を希望する教員に必ず連絡をとり、入学後の研究・教育について相談してください。(別表:「指導教員の研究概要」を参照)その際に、入学願書に指導希望教員の捺印をもらってください。

受付期間：

持参の場合	2026年9月24日(木)午前9時～2026年9月30日(水)午後3時(期限厳守) 土日を除き、各日、午前9時～同11時、午後1時～同3時
郵送の場合	2026年9月24日(木)～2026年9月30日(水)の消印(日本国内に限る)のあるものに限り受理します。必ず「簡易書留速達」郵便としてください。 宛先：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番7号 大阪大学大学院医学系研究科保健学事務室教務係

出願に要する書類等一覧表：

書 類	内 容
1. 入 学 願 書	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙 ※指導希望教員の捺印をもらってください。
2. 志 望 理 由 書	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙
3. 受 験 票 ・ 写 真 票	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙 ※上半身脱帽正面向きで3か月以内に単身撮影した顔写真を所定欄に貼付してください。
4. 成 績 証 明 書	ア. <統合保健看護科学分野・医療画像技術科学分野の志願者> 大学院修士課程(博士前期課程)の成績証明書[ただし本研究科保健学専攻博士前期課程修了(見込)者は不要] ※編入学した者は、編入前の学校の成績証明書も提出してください。 <医療検査技術科学分野の志願者> 大学院修士課程(博士前期課程)の成績証明書[ただし本研究科保健学専攻博士前期課程修了(見込)者は不要]および学部の成績証明書[ただし本学部卒業者は不要]。 ※編入学した者は、編入学前の学校の成績証明書も提出してください。 イ. 大学改革支援・学位授与機構から修士の学位を授与された者は大学

	<p>(短期大学)以降の全成績証明書</p> <p>ウ. 出願資格(7)、(8)により出願する者は、提出不要です。</p> <p>※廃校などにより出身校の成績証明書を得られない場合は、学校長からの公印が押された「単位修得証明書」と「成績証明書を発行できない旨の文書」を提出してください。「単位修得証明書」も得られない場合は、学校長からの「単位修得証明書を発行できない旨の文書」を提出してください。</p>
5. 修士課程修了(見込)証明書等	<p>ア. 修士課程(博士前期課程)修了(見込)証明書 〔本研究科保健学専攻博士前期課程修了(見込)者は不要〕イ. 出願資格(7)、(8)により出願する者は、提出不要です。</p>
6. 学位授与証明書	<p>大学改革支援・学位授与機構から修士の学位を授与された者のみ提出してください。</p>
7. 修士論文の内容の要旨	<p>修士の学位を有する者のみ提出してください。</p>
8. 検定料納入証明書	<p>検定料振込依頼書により、検定料 30,000 円を銀行振込にて納入し、検定料納入証明書を、本専攻ホームページに掲載されている所定用紙に貼付してください。なお、振込手数料は各自で負担してください。</p> <p><u>※本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に入学する者は、検定料を納入する必要はありません。</u></p> <p><u>※国費外国人留学生の検定料の取扱いについては、教務係へ問い合わせてください。</u></p> <p>※大阪大学ホームページに記載しているとおり、災害により被災した志願者に対し、検定料免除の特別措置を講じます。 (https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information) 詳しくは上述ホームページを確認のうえ、検定料を納入せず、教務係へ問い合わせてください。</p> <p>納入済の検定料は返還しません。ただし、次の場合により検定料を振り込まれた場合は、検定料を返還します。</p> <p>①出願したが受験資格がなかった場合 ②出願書類受付期間後に書類が到着し、受理されなかった場合 ③出願書類に不備があり受理されなかった場合 ④検定料を払い込んだが出願しなかった場合 ⑤検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>返還請求については、教務係(i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp)へ申し出てください。</p>
9. 発送票	<p>本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙を使用してください。</p> <p>※住所を変更した場合は、早急に教務係に連絡してください。</p>
10. 受験票送付用封筒	<p>封筒(長形 3 号)に入学志願者の氏名、住所及び郵便番号を明記し、760 円分の郵便切手を貼付してください。</p>
11. 住民票又は 在留カードの写し	<p>【日本に在住する外国人の志願者のみ提出】</p> <p>市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」又は「在留カードの両面の写し」を提出してください。</p>

	<p>※出願者以外の世帯員については、証明不要です。</p> <p>※法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。</p>
12. パスポートの写し	<p>【海外に在住する外国人の志願者のみ提出】</p> <p>顔写真のあるページを提出してください。</p>
13. 戸籍抄本	<p>【結婚等で現在の姓が各証明書類と異なる方のみ提出】</p> <p>※卒業証明書・成績証明書等記載氏名との確認のため。</p> <p>※本学卒業者であっても該当する場合は提出が必要です。</p>
14. 出願資格(6)に相当する審査合格確認(証明)書類(出願資格(6)により出願する場合のみ該当)	<p>・出身大学長等が作成(署名)したもので、下記の内容が記載されたものを提出してください。</p> <p>【様式例】□□大学としては、本学の学生である◇◇◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。</p> <p>【添付資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該審査の合格の基準 ・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料 ・当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料
15. 英語外部検定試験の結果	<p>【統合保健看護科学分野・医療画像技術科学分野の志願者のみ提出】</p> <p>後述の「英語外部検定試験の結果提出に関する留意事項」に従い、2024年9月以降に実施の英語外部検定試験の成績(分野が指定するスコア)を提出してください。</p> <p>※スコアの提出は、出願時あるいは入学試験日とします(注1)。ただし、出願時に提出した場合でも入学試験日の再提出を認めます。</p> <p>(注1)2025年9月以前に受検したスコアを提出する場合は、出願時に提出することとし、入学試験日の提出を認めません。</p> <p>※TOEFLのETS個人アカウント上でダウンロードできる「Test Taker Score Report」のPDFを提出する場合は、PDFスコアの提出とは別に、期日までに、本専攻に「Official Score Reports」の到着が必要です。</p> <p>※出願時にスコアを未提出の者及び出願時に提出し入学試験日に再提出する者は、入学試験日当日に各口述試験控室において、控室監督者の指示により成績原本を提出してください。</p> <p>※各スコアは手元に届くまで一定期間を要するので、余裕を持って各英語外部検定試験を受験しておいてください。</p> <p>※スコアの改ざん等を行った者は、入学後であっても入学を取消したり、当該課程の学位取得後であっても学位を取消したりすることがあります。</p> <p>※スコア原本を提出した場合、その原本は返却します。</p>

【英語外部検定試験の結果提出に関する留意事項】

・各分野が指定するスコア

受理するスコアは、志望する分野において下表で○のついているいずれかのスコアとし、複数のスコアの提出がある場合は、選抜にあたっては、最も高い評価点のものを採用します。

分野	TOEFL	TOEIC	IELTS
統合保健看護科学分野	○		○
医療画像技術科学分野	○	○	○

・各スコアの提出についての詳細

TOEFL

試験の種類	TOEFL-iBT のスコアを受理します
有効期限	2024 年 9 月以降に受検し、かつ、指定の期日（出願時又は入学試験日）にスコアを提出し本研究科で確認できるもの ただし、2025 年 9 月以前に受検したスコアを提出する場合は、出願時に提出することとし、入学試験日の提出を認めません。
提出物	以下から1つを提出してください ① スコアの原本（郵送で受検者の手元に届くスコア Examinee Score Record 又は Test Taker Score Report） ② ETS 個人アカウント上でダウンロードできる「Test Taker Score Report」の PDF を印刷（A4）したもの [次述「提出前の手続き」参照]
提出前の手続き	【上述[提出物]で②を提出する場合のみ】 上述②の PDF 提出に加えて、ETS 個人アカウントページにログインし、本研究科保健学専攻に「Official Score Reports」を送付する手続きをしてください。 入力するコード等は次のとおりです。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">DI コード: G202 (The University of Osaka Graduate School of Medicine, Division of Health Science)</div> なお、期日までに本専攻に「Official Score Reports」が届くよう、余裕をもって手続きを行ってください。 「Official Score Reports」の本専攻への到着期日 ・出願時に提出する場合は、出願期間の最終日まで ・入学試験日に提出する場合は、入学試験日まで なお、「Official Score Report」が届いているかどうかの確認には応じません。
注意事項	* 次の場合は TOEFL の成績は無効とみなします。 (1) 上述[提出物]で②を提出した場合で ETS から本専攻に「Official Score Report」が到着期限までに届かなかった場合 (2) 上述[提出物]②の「Test Taker Score Report」と ETS から送付された「Official Score Reports」の成績が一致しない場合 (3) 指定の有効期限（上述[有効期限]参照）より前に受検したスコアを提出した場合

	<p>* TOEFL iBT® Home Edition、TOEFL-ITP(団体特別受験制度)等は利用不可とします。</p> <p>* TOEFL-iBT ®は、Test Date Scores のみを出願スコアとし、MyBest Scores は利用しません</p>
--	---

TOEIC 【医療画像技術科学分野のみ】

試験の種類	TOEIC (Listening and Reading test)のスコアを受理します
有効期限	2024年9月以降に受検し、かつ、指定の期日(出願時又は入学試験日)にスコアを提出し本研究科で確認できるもの ただし、2025年9月以前に受検したスコアを提出する場合は、出願時に提出することとし、入学試験日の提出を認めません。
提出物	以下から1つを提出してください ① TOEIC の公式認定証の原本(郵送で受検者の手元に届くスコア Official Score Certificate) ② TOEIC 申込サイトからダウンロードできる QR コード付きの「デジタル公式認定書」の PDF を印刷(A4)したもの
注意事項	<p>* 次の場合は TOEIC の成績は無効とみなします。</p> <p>(1) 上述[提出物]②の「デジタル公式認定書」の QR コードが正常に読み取れない場合 (2) 上述[提出物]②の「デジタル公式認定書」と QR コードで表示された成績が一致しない場合 (3) 指定の有効期限(上述「有効期限」参照)より前に受検したスコアを提出した場合</p> <p>* 「デジタル公式認定証」の真正性を確認するため、QR コードが読み取れるように印刷し、提出前に QR コードが読み取れるかを確認してください。</p> <p>* TOEIC IP、TOEIC Speaking & Writing Tests、TOEIC Speaking Test、TOEIC Bridge Test 等は利用しません。</p>

IELTS

試験の種類	IELTS(Academic Module)のスコアを受理します
有効期限	2024年9月以降に受検し、かつ、指定の期日(出願時又は入学試験日)にスコアを提出し本研究科で確認できるもの ただし、2025年9月以前に受検したスコアを提出する場合は、出願時に提出することとし、入学試験日の提出を認めません。
提出物	IELTS の成績証明書の原本(郵送で受検者の手元に届くスコア Test Report Form)
注意事項	<p>* 次の場合は IELTS の成績は無効とみなします。</p> <p>(1) 成績証明書原本の提出が無い場合 (2) 指定の有効期限(上述「有効期限」参照)より前に受検したスコアを提出した場合</p> <p>* IELTS General Training Module、IELTS Indicator、IELTS Online 等は利用しません。</p>

※出願に際しての注意事項

- 1) 出願書類に不備がある場合は、原則として受理しません。また、出願後は原則として記載事項の変更は認めません。

- 2) 受理した出願書類は、理由のいかんにかかわらず一切返還しません。
- 3) 障がい等を有する者等で、受験に際して特別な配慮を希望する者は、出願までに教務係あてにメール(i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp)で相談してください。審査のうえ、配慮事項を決定します。

・メールの件名を「受験上の配慮の事前相談」として、申請希望者氏名、メールアドレス、電話番号(日中に連絡のつきやす番号)、志望分野、希望する配慮内容を送付ください。

・出願後の申請については、受験上の配慮が講じられないこともありますので、なるべく早く相談してください。

・日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合であっても、受験上の配慮として申請してください。

(配慮の例)

車椅子の持参使用。薬を机の上に設置、試験時間中の薬の服用。身障者用トイレの使用。試験場への乗用車での入構、等。

- 4) 入学願書の履歴、入学資格等につき虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 5) 日本語または英語以外の言語で記載された証明書類等がある場合、日本語または英語訳を添付してください。
- 6) 本募集要項のほか、本専攻のホームページ大学院入試ページで募集要項と共に掲載しているQ&Aも確認してください。

5. 志望研究領域の選定

志願者は、別表「指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧」に示す研究領域の中から1研究領域を選んでください。

6. 試験日程・試験場所

試験日:2026年11月4日(水)

場所:大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻(吹田市山田丘1-7)

試験時間割:

分 野	試験内容	時 間
統合保健看護科学	口述試験	13:00~18:00
医療画像技術科学	口述試験	13:00~18:00
医療検査技術科学	学力検査 専門科目(英文を題材とする)	10:00~11:30
	口述試験	13:00~18:00

7. 入学者選抜方法

○統合保健看護科学分野・医療画像技術科学分野

英語外部検定試験の成績、口述試験、並びに成績証明書等の内容を総合して行います。

○医療検査技術科学分野

学力検査及び口述試験、並びに成績証明書等の内容を総合して行います。

(1) 学力検査

分野	学力検査	備考
医療検査技術科学	専門科目(英文を題材とする)	辞書の種類を問わず、1冊持ち込み可 (電子辞書は不可)

英語による問題用紙及び解答用紙で受験することが可能です(問題の内容は日本語のものと同様)。

英語による問題用紙及び解答用紙を希望する者は、入学願書下部のチェック欄にチェックしてください。
なお、出願後の変更は認められません。

(2) 口述試験

志望する研究領域に関する実践能力、研究能力等について個別に口述試験を行います。口述試験の発表方法(パソコン等の機器使用)は、研究領域により異なりますので、詳細は指導を希望する教員と必ず打ち合わせしてください。

修士論文あるいは、これまでの研究内容について発表し、それをもとに質疑応答を行います。

(3) 英語外部検定試験の成績

2024年9月以降に実施の英語外部検定試験の成績(分野が指定するスコア)を利用します。スコアの提出は、出願時あるいは入学試験日当日とします(注1)。ただし、出願時に提出した場合でも入学試験日の再提出を認めます。出願時にスコアを未提出の者及び出願時に提出し入学試験日に再提出する者は、入学試験日当日に各口述試験控室において、控室監督者の指示により成績原本を提出してください。

なお、TOEFLのスコアのうち、ETS 個人アカウント上でダウンロードできる「Test Taker Score Report」のPDFを提出する場合は、PDFスコアの提出とは別に、期日までに、本専攻に「Official Score Reports」の到着が必要です。

スコア提出の詳細は、【英語外部検定試験の結果提出に関する留意事項】により確認してください。

(注1)2025年9月以前に受検したスコアを提出する場合は、出願時に提出することとし、入学試験日の提出を認めません。

8. 受験に際しての注意事項

- (1) 試験に関する注意事項(試験室配置図及び受験者心得等)を受験票と共に返信用封筒にて試験日の一週間前までに郵送します。
- (2) 試験当日は、指定された座席に試験開始20分前に着席してください。
- (3) 受験に際しては受験票を必ず持参してください。なお、受験票は入学に関する諸手続にも必要なので、紛失しないよう大切に保管しておいてください。
- (4) 受験のための宿泊施設等の斡旋はしません。
- (5) 自家用自動車及びオートバイ(原動機付自転車を含む)での大学構内への入構はできません。
- (6) やむを得ない理由により、入試日程や試験内容に変更が生じる可能性があります。最新の情報は本専攻ホームページに事前に掲載しますので、適宜確認をしてください。

9. 合格者発表

2026年11月13日(金)13時30分

上記日時に保健学科棟1F掲示板に合格者の受験番号を発表します。また、合格者発表から2時間以内を目途に本専攻ホームページにも同発表を掲載します。合格者には出願時に提出された「発送票」

の住所へ合格通知書を簡易書留郵便で送付します。電話等による合否の問い合わせには一切応じません。(不合格者への通知は行いません。)

なお、入学手続きについては、2027年1月下旬に本専攻ホームページにて通知します。

※合格通知書及び1F掲示板に掲示する合格者受験番号表が正式通知となります。

※合格者の受験番号のホームページへの掲載は、情報提供の一環として行うものです。システムトラブル等、やむを得ない事態が生じた場合、ホームページへの掲載を一時中断することがあります。

10. 試験の成績開示について

入試成績については、受験者本人からの請求に基づき、「学力検査の合計点」、「英語外部検定試験の得点」、「口述試験の得点」、「総合計点」、「分野内順位」を開示します。希望者は必要書類を取り揃えの上、請求期間内に郵送にて提出してください。ただし、口述試験欠席者からの請求は受け付けません。

請求期間：2026年11月16日(月)～2026年11月27日(金)【必着】

※期間外の請求は受け付けません。

請求方法：「博士後期課程保健学専攻 入学試験個人成績開示請求」と朱書きした封筒に下記の書類を封入のうえ、教務係宛てに請求してください。

・入学試験個人成績開示依頼書(所定様式) 本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙をダウンロードし、使用してください。(2026年11月中旬掲載予定)

・受験票

・請求者(受験者本人)の郵便番号、住所、氏名を明記し、460円分の切手を貼付した長形3号の封筒

11. 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。なお、入学者については、「教務関係(学籍管理、修学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係(奨学金申請等)」のために利用します。
- (3) 前記の(1)及び(2)の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。
- (4) (1)及び(2)で得られた個人情報は、上記のほか、「入学者選抜方法及び大学教育の改善」、「大学の管理運営(各種調査・分析、事業企画等)」のために利用することがあります。ただし、個人が特定される形で、その成果が公表されることはありません。

12. 入学金及び授業料

1) 入学金……282,000円

2) 授業料……年額535,800円〔半期267,900円〕

※本学大学院博士前期課程、修士課程又は法科大学院の課程を修了し、引き続き博士後期課程に入学する者は、入学金を徴収しません。

※入学金、授業料の金額については変更することがあります。

在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

13. 優秀な私費外国人留学生に対する授業料免除制度(特待留学生授業料免除制度)

大阪大学では、研究力の強化と留学生の受入増進のために大学院入学試験において優秀であると認められる私費外国人留学生に対する授業料免除制度(特待留学生授業料免除)を実施しています。この入試は特待留学生授業料免除の対象となっております。本入試に合格し、優秀と認められた留学生は本制度による授業料免除の候補者となります。申請対象者は、指導予定教員了承の下、以下のすべてに該当する者とし、出願願書の「外国人留学生記入欄」の項目にチェックを入れてください。

- ①入学後の 在留資格が「留学」である者
- ②国費外国人留学生、外国政府派遣留学生等により授業料の支援を受けていない者
- ③民間奨学金等により、授業料支援を目的とした授業料相当額の支援を受けていない者
- ④年間6カ月以上日本を拠点として修学/研究活動を行う者

合格発表後、免除申請の結果をメールにて連絡します。

詳細は、本専攻ホームページに掲載している優秀な私費外国人留学生に対する授業料免除制度

(<https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/admissions/doc/2026-shihi-ryugakus-ei-menjyo.pdf>)を参照ください。

14. 長期履修学生制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修することが出来る制度です。条件を満たし希望する者は申請することができます。

詳細は、本専攻ホームページに掲載している長期履修制度の要項(<https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/procedure/gakui-shinsei-longterm.html>)を参照ください。申請方法は、入学手続き案内ページ(2027年1月下旬公開予定)において案内します。

15. 安全保障輸出管理について

本学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき「大阪大学安全保障輸出管理規程」を定めて貨物の輸出、技術の提供(人の受入を含む)について厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、合格しても入学が認められない場合や、希望する教育が受けられない又は研究が実施できない等の制限がかかる場合がありますのでご留意ください。詳細については、ウェブサイトを参照してください。

(日本語) https://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/secur_exp/outline

(英語) https://www.osaka-u.ac.jp/en/research/secur_exp/outline

16. 障がいのある学生への支援(合理的配慮)について

本学では、障がいの種別や程度に関わらず、学生が教育を受けるという基本的権利を擁護するために合理的な配慮を行うことを大学の責任と考えています。その理念に基づき、各学部・研究科等が学業および学生生活において、障がいのある学生が他の学生と同じように過ごすことができる教育環境を提供できるように、ウェルネス推進機構健康支援相談センター(相談支援部門アクセシビリティ支援室)を設置し、本専攻と連携を取りながら支援体制を整えています。

支援(合理的配慮)の申し込み手続きなど詳細は、合格後に教務係へお問い合わせください。

17. 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻入学試験会場案内

○利用交通機関

- [バ ス] 阪急バス 千里中央発「阪大本部前行」 ※運行本数が少ないため注意
近鉄バス 阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR 茨木駅経由)
いずれも阪大本部前下車、徒歩約 5 分
- [モノレール] 大阪モノレール 阪大病院前駅下車(西へ徒歩約15分)
- [電 車] 阪急電車千里線 北千里駅下車(東へ徒歩約 25 分)

○キャンパスマップ



医学系研究科
保健学専攻試験会場

【問い合わせ先】

大阪大学大学院医学系研究科 保健学事務室教務係
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番7号
電話: 06-6879-2512

E-mail: i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程概要

1. 保健学専攻アドミッション・ポリシー

【求める人材像】

博士後期課程では、保健医療科学の分野で、グローバルな知識を持ち、国際的なリーダーシップを発揮できる研究者の育成を目的としています。医療界のみならず産業界からも期待され、将来の保健医療福祉分野において国際的な貢献を目指す、多角的な視野を持つ人を求めています。

- (1) 高い倫理観のもと保健医療分野での研究を通して人々の健康と福祉に貢献できる人
- (2) 新たな医療技術の開発や生命現象の解明に情熱をもって取り組む人
- (3) 新たな分野を萌芽的な段階の研究から切り開いていく資質を持つ人
- (4) 自らの専門分野にとどまらず他領域との融合による新たな展開を図る資質を持つ人
- (5) 高い語学力を有し、多角的な視野を持つ人
- (6) 高いコミュニケーション力を有し、リーダーシップを発揮する資質を持つ人

【入学者選抜の基本方針】

上記の人材を受け入れるため、学力検査(医療検査技術科学分野のみ)、口述試験および出願書類を総合的に評価して選抜を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

(2)～(5)の資質および能力については学力検査および出願書類を総合的に評価するとともに、口述試験における出願者のこれまでに実施した研究の発表とそれに対する質疑応答を通して評価します。

(1)および(6)については口述試験および出願書類を総合的に評価します。

2. 課程

博士課程は、前期 2 年の課程及び後期 3 年の課程と区分し、前期課程は、修士課程として取り扱います。

前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、統合保健看護科学及び医療技術科学分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としています。

後期課程は、統合保健看護科学及び医療技術科学分野の研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事する必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

希望者はがん医療に関わる専門職・研究者を養成する教育・研究コース(がんプロコース)を履修できます。これは我が国のがん医療の状況を改善するため平成 18 年度に制定された「がん対策基本法」第 14 条に定められた「がん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医療従事者の養成を図るために必要な施策」を背景に文部科学省の教育プログラムとして平成 19 年度からスタートし、第一期から令和 3 年度で終了となった第三期までに多くの医療人を輩出しました。令和 5 年度に第四期となる新たなプログラムが開始となりました。令和 5 年度より、保健学専攻では高度医学物理士養成コースがあります。入学後、このコース志望の大学院生は他の学生と別のカリキュラムを受講してもらいます。本コースは入学後のコース選択となります。

※がんプロコースを志望する学生は、出願に先立ち、下記の担当教授に必ず問い合わせてください。

高度医学物理士養成コース(医療画像技術科学分野)西尾禎治教授

mail: nishio@sahs.med.osaka-u.ac.jp

また、令和 4 年度から、臨床工学技士指導者をを目指す研究者を育成するプログラムを履修できます。これは、今後の医療のニーズに応える目的で、臨床工学技士育成の指導者数が十分でない現状を打開するために臨床工学を極めた指導者を養成するプログラムとなります。詳細は、「臨床工学技士指導者育成プログラム」のページ(<https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/admissions/rinsho-kougakugishi-program.html>)を参照してください。また、志望する学生は出願に先立ち下記の担当教授に必ず問い合わせてください。

プログラム責任教員 上野高義教授 mail:uenotm@sahs.med.osaka-u.ac.jp

(1)リカレント教育の重視

仕事で求められる能力を磨き続ける社会人の学びを重視し、長期履修学生制度を設けるとともに、社会的役割の遂行と本専攻での履修が両立するよう、授業または研究指導を夜間や休日、夏季・冬季の休業期間等に行うほか、情報ネットワーク等を活用して行います。これら履修計画については、指導教員との調整を踏まえて作成します。

(2)修了の要件

博士後期課程に 3 年以上在学し、授業科目について所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績を上げた者については、研究科教授会が認めた場合に限り、修士課程又は前期課程における 2 年の在学期間と通算して 3 年以上在学すれば足りるものとします。

(3)学位

本課程を修了した者には、学位規則(昭和 28 年文部省令第 9 号)の定めるところにより、博士(保健学)又は博士(看護学)の学位を授与します。

別表. 指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧(博士後期課程)

Appendix "List of Research Areas of Supervisors and Abbreviations for Application Form"

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP 研究室・部門 のページをご覧ください。

For research themes and contact information, please refer to the page of Research Laboratories and Departments on the website of the Division of Health Sciences, The University of Osaka Graduate School of Medicine.

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

保健学研究プログラム/Division of Health Sciences

*AN:Adult Nursing, MC: Maternity and Child, HP:Health Promotion, R:Radiology, LS:Laboratory Science

分野 Area	研究領域[研究室名] Department[Research Field]	研究領域(願書記載時) Department (At the time of application)	氏名 Chief	研究内容 Research content
統合保健看護科学 and Nursing Science	看護実践開発科学 1 [周手術期管理学研究室]	看 1	上野 高義	手術前から術後までのQOL向上に結び付く新たな看護管理スキルの創出
	Department of Evidence-Based Clinical Nursing 1 [Perioperative Care]	AN1	UENO Takayoshi	Creation of novel perioperative management skills leading to QOL improvement
	看護実践開発科学 2 [急性期・緩和ケア学研究室]		調整中	
	Department of Evidence-Based Clinical Nursing 2 [Critical and Palliative Care Nursing]		under adjustment	
	看護実践開発科学 3 [慢性疾患看護学研究室]	看3	清水 安子	慢性疾患患者のセルフケア支援や看護システムに関する研究
	Department of Evidence-Based Clinical Nursing 3 [Nursing of Chronic Illness]	AN3	SHIMIZU Yasuko	Self-care support and nursing systems for people with chronic illness
	看護実践開発科学 4 [精神保健看護学研究室]	看4	武用 百子	精神看護全般に関する研究、身体疾患をもつ患者の心の健康に関する研究(PICSなど)、周産期メンタルヘルス、現任教育、看護管理に関する研究、APNの成果研究
	Department of Evidence-Based Clinical Nursing 4 [Psychiatric and Mental Health Nursing]	AN4	BUYO Momoko	Mental health nursing, Liaison psychiatric nursing, Nursing current education, Nursing management
	看護実践開発科学 5 [老年看護学研究室]	看5	竹屋 泰	老年医学、老年看護学、医看連携、ICTを用いた多職種連携の中での看護師の役割
	Department of Evidence-Based Clinical Nursing 5 [Geriatric Nursing]	AN5	TAKEYA Yasushi	Geriatric medicine, geriatric nursing, Medicine-Nursing Cooperation, and the role of nurses in multidisciplinary collaboration using ICT
	生命育成看護科学 1 [小児・家族看護学研究室]	生1	山崎 あけみ	小児看護に関する研究、およびファミリーインタビュー・dyadic dataによる家族に関する研究
	Department of Children's and Women's Health 1 [Child and Family Nursing]	MC1	YAMAZAKI Akemi	Pediatric nursing research, Family research by family interview/ dyadic data analysis.
	生命育成看護科学 2 [母性胎児科学研究室] [再生誘導医学協働研究所]	生2	遠藤 誠之	再生誘導医学の臨床応用と基礎的研究 子育てをしやすい社会を医療・文化・社会の視点から超域的に研究する
	Department of Children's and Women's Health 2 [Maternal Fetal Science] [StemRIM Institute of Regeneration-Inducing Medicine]	MC2	ENDO Masayuki	・ Clinical application and Basic research for Regeneration-Inducing Medicine ・ Super-regional research on medical, cultural, and social aspects of child rearing
	生命育成看護科学 3 [ウィメンズヘルス科学研究室]		調整中	
	Department of Children's and Women's Health 3 [Women's Health Science]		under adjustment	
	生命育成看護科学 4 [助産学・リプロダクティブヘルス研究室]	生 4	白石 三恵	妊娠期の栄養アセスメントに関する研究 周産期の生活習慣・ストレスに関する研究
	Department of Children's and Women's Health 4 [Midwifery and Reproductive Health]	MC4	SHIRAIISHI Mie	Nutritional Assessment during Pregnancy Research on healthy lifestyle and stress reduction in the perinatal period

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP 研究室・部門 のページをご覧ください。

For research themes and contact information, please refer to the page of Research Laboratories and Departments on the website of the Division of Health Sciences, The University of Osaka Graduate School of Medicine.

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

保健学研究プログラム/Division of Health Sciences

分野 Area	研究領域[研究室名] Department[Research Field]	研究領域(願書記載時) Department (At the time of application)	氏名 Chief	研究内容 Research content
A r e a o f I n t e g r a t e d H e a l t h a n d N u r s i n g S c i e n c e	総合ヘルスプロモーション科学 1 [公衆衛生看護学研究室]	総1	蔭山 正子	精神保健、親子保健、保健師の支援技術
	Department of Health Promotion Science 1 [Public Health Nursing Science]	HP1	KAGEYAMA Masako	Mental health,parent and child health, and public health nursing skills
	総合ヘルスプロモーション科学 2 [ヘルスプロモーション・システム科学研究室]	総2	神出 計	健康長寿の要因の探求、生活習慣病の予防・治療、在宅 要介護高齢者のケアシステム
	Department of Health Promotion Science 2 [Health Promotion System Science]	HP2	KAMIDE Kei	Investigation for healthy longevity, Prevention for life-style related diseases, Home medical care for older adults
	総合ヘルスプロモーション科学 3 [地域ヘルスケアシステム科学研究室]	総3	小西 かおる	地域在宅看護学領域におけるヘルスケアシステムの構築 に関する研究
	Department of Health Promotion Science 3 [Science of Community Health Care System]	HP3	KONISHI Kaoru	Development of healthcare systems in community health nursing
	総合ヘルスプロモーション科学 4 [基礎看護学研究室]	総4	石井 豊恵	看護業務、看護実践の可視化、定量化に関する研究
	Department of Health Promotion Science 4 [Nursing Administration]	HP4	ISHII Atsue	Research on visualization and quantification of nursing
	総合ヘルスプロモーション科学 5 [包括看護学研究室]	総5	樺山 舞	生活習慣病の予防、健康に関わる社会要因の検討 地域 包括ケアシステムの推進に関する研究
	Department of Health Promotion Science 5 [Integrated General Nursing Science]	HP5	KABAYAMA Mai	Prevention of lifestyle-related diseases Investigation of social factors related to health Promotion of comprehensive community care systems
A f f i l i a t e d S c i e n c e	先進医療・臨床試験科学 〈連絡教員：渡邊 幹夫〉	看6	山本 晴子 【国立循環器病研究センター】	脳・循環器領域を中心とした前向き介入研究の臨床研究 デザイン、評価項目の選定、データ解析に関する研究
	Advanced Medicine and Clinical Trial Science	AN6	【National Cerebral and Cardiovascular Center Hospital】 YAMAMOTO Haruko	Research on clinical trial design, selection of endpoints, and data analysis for prospective intervention studies focusing on the cerebrovascular and cardiovascular fields

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP 研究室・部門 のページをご覧ください。

For research themes and contact information, please refer to the page of Research Laboratories and Departments on the website of the Division of Health Sciences, The University of Osaka Graduate School of Medicine.

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

保健学研究プログラム/Division of Health Sciences

分野 Area	研究領域[研究室名] Department[Research Field]	研究領域(願書記載時) Department (At the time of application)	氏名 Chief	研究内容 Research content
A r e a o f M e d i c a l I m a g i n g T e c h n o l o g y a n d S c i e n c e	医療画像技術科学 1 [医学物理学研究室]	放1	西尾 禎治	粒子線治療を中核とする医学物理学研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 1 [Medical Physics]	R1	NISHIO Teiji	Medical physics research and development on radiation detection and measurement system, imaging, and software in radiation therapy, especially particle therapy
	医療画像技術科学 2 [医用光学研究室]	放2	近江 雅人	光断層イメージング(OCT)の開発と表皮下生理機能解析・皮膚科分野への応用研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 2 [Biomedical Optics]	R2	OHMI Masato	Study of optical coherence tomography Basic and application to skin physiology and dermatology
	医療画像技術科学 3 [生体機能イメージング研究室]	放3	小山内 実	マルチスケール・マルチモーダルイメージングによる脳・神経系機能解明
	Area of Medical Imaging Technology and Science 3 [Physiological Functional Imaging]	R3	OSANAI Makoto	Unraveling the function expression mechanisms of brain and nervous system using multiscale and multimodal imaging
	医療画像技術科学 4 [病態超音波医学研究室]	放4	鎌田 佳宏	超音波検査を用いた消化器疾患の研究 消化器疾患の基礎・臨床研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 4 [Department of Advanced Metabolic Hepatology]	R4	KAMADA Yoshihiro	Research on digestive diseases using ultrasonography Basic and clinical research on digestive diseases
	医療画像技術科学 5 [分子イメージング学研究室]	放5	福地 一樹	核医学技術と分子イメージングによる生体機能計測に関する研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 5 [Nuclear Medicine and Molecular Imaging]	R5	FUKUCHI Kazuki	Research on biofunctional measurement using nuclear medicine technology and molecular imaging
	医療画像技術科学 6 [放射線治療生物学研究室]	放6	高橋 豊	光子線・重粒子線と免疫変調による難治性腫瘍の遠隔転移制御に関する研究 癌治療における放射線耐性メカニズムの解明に関する研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 6 [Therapeutic Radiation Biology]	R6	TAKAHASHI Yutaka	Research on control of distant metastasis of treatment-refractory tumors using photon or heavy ion beams with immune modulation Reserch on the elucidation of radioresistance in cancer therapy
医療画像技術科学 7 [臨床画像医学研究室]	放7	大西 裕満	最新画像技術を用いた疾患の病態解析に関する研究	
Area of Medical Imaging Technology and Science 7 [Clinical Imaging]	R7	ONISHI Hiromitsu	Research on the analysis of pathological conditions using the latest imaging technology	
医療画像技術科学 8 [画像科学技術研究室]		調整中		
Area of Medical Imaging Technology and Science 8 [Image Science and Technology]		under adjustment		
G r a d u a t e S c h o o l	医療画像技術科学 9 (粒子線治療学) <連絡教員:西尾 禎治>	放9	沖本 智昭 【兵庫県立粒子線医療センター】	粒子線治療の臨床及び医学物理学研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 9 (Particle Therapy)	R9	【Hyogo Ion Beam Medical Center】 OKIMOTO Tomoaki	Research and development of heavy ion and proton beam therapy physics and biophysics
	医療画像技術科学10 (医用画像解析学) <連絡教員:小山内 実>	放10	上口 貴志 【情報通信研究機構 未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター】	画像診断技術(MR, CT等)に関する医学物理学・画像工学・情報科学的研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 10 (Medical Imaging Science)	R10	【Center for Information and Neural Networks, Advanced ICT Research Institute, National Institute of Information and Communications Technology】 UEGUCHI Takashi	Advanced diagnostic imaging (MR, CT, etc.) from medical physics, image engineering, and information science perspectives
	医療画像技術科学11 (粒子線治療物理学) <連絡教員:西尾 禎治>	放11	稲庭 拓 【量子科学技術研究開発機構】	重粒子線治療の高度化に向けた医学物理学・放射線化学・放射線生物学の分野横断型研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 11 (Particle Therapy Physics/Chemistry/Biology)	R11	【National Institutes for Quantum Science and Technology】 INANIWA Taku	Interdisciplinary research in medical physics, radiation chemistry, and radiation biology for the advancement of heavy ion radiotherapy
	医療画像技術科学12 (粒子線治療生物学) <連絡教員:高橋 豊>	放12	武島 嗣英 【量子科学技術研究開発機構】	重粒子線治療を基盤とした抗腫瘍免疫応答に関する研究
Area of Medical Imaging Technology and Science 12 (Particle therapeutic Biology)	R12	【National Institutes for Quantum Science and Technology】 Tsuguhide Takeshima	Antitumor immune response in heavy ion therapy	

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP 研究室・部門 のページをご覧ください。

For research themes and contact information, please refer to the page of Research Laboratories and Departments on the website of the Division of Health Sciences, The University of Osaka Graduate School of Medicine.

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

保健学研究プログラム／Division of Health Sciences

分野 Area	研究領域[研究室名] Department[Research Field]	研究領域(願書記載時) Department (At the time of application)	氏名 Chief	研究内容 Research content
A r e a o f M e d i c a l L a b o r a t o r y S c i e n c e a n d	医療検査技術科学 1 [心血管代謝学研究室]	検1	福原 淳範	脂肪組織の病態生理学およびアディポサイトカイン研究を基盤としたメタボリックシンドロームの発症機構解明
	Area of Medical Laboratory Science and Technology 1 [Cardiovascular Metabolism]	LS1	FUKUHARA Atsunori	Research on the pathophysiology of adipose tissue and the regulatory roles of adipocytokines in the development of metabolic syndrome
	医療検査技術科学 2 [臨床神経生理学研究室]	検2	高橋 正紀	中枢神経・骨格筋の生理・病態・臨床研究、イオンチャネルの生物物理学的研究
	Area of Medical Laboratory Science and Technology 2 [Clinical Neurophysiology]	LS2	TAKAHASHI Masanori	Pathophysiological and clinical research of the central nervous system and skeletal muscle. Biophysical studies of ion channels.
	医療検査技術科学 3 [分子病原微生物学研究室]	検3	岡本 成史	病原微生物の新たな病原因子の検索 細菌叢の構成変化と疾患発症リスクとの関連
	Area of Medical Laboratory Science and Technology 3 [Molecular Medical Microbiology]	LS3	OKAMOTO Shigefumi	Study for new virulence factors in pathogenic microorganisms. Relationship between dysbiosis of microbiome and the risk of diseases.
	医療検査技術科学 4 [分子生化学研究室]		調整中	
	Area of Medical Laboratory Science and Technology 4 [Department of Molecular Biochemistry & Clinical Investigation]		under adjustment	
	医療検査技術科学 5 [再生発生医学研究室]	検5	辻川 元一	眼の再生医療の開発と発生の研究眼科疾患の病態の遺伝学的検討
	Area of Medical Laboratory Science and Technology 5 [Development and Regenerative Medicine]	LS5	TSUJIKAWA Motokazu	Development of regenerative medicine in ophthalmology and understanding of pathologic mechanism of ocular diseases.
	医療検査技術科学 6 [免疫造血制御学研究室]	検6	尾路 祐介	白血病や固形癌におけるWT1遺伝子研究に基づく癌免疫治療および分子標的治療の開発
	Area of Medical Laboratory Science and Technology 6 [Immuno-Oncology and Hematology]	LS6	OJI Yusuke	Development of cancer immunotherapy and molecular-targeted therapy based on WT1 research in leukemia and solid tumors
	医療検査技術科学 7 [分子病理学教室]	検7	山本 浩文	分子生物学的な手法を用いた癌に対する診断・治療に関する研究
Area of Medical Laboratory Science and Technology 7 [Molecular Pathology]	LS7	YAMAMOTO Hirofumi	Research on diagnosis and therapy for cancer by the molecular biological methods.	
医療検査技術科学 8 [予防診断学研究室]	検8	渡邊 幹夫	ゲノム・エピゲノム情報を応用した病態寄与因子の解明と臨床検査への応用	
Area of Medical Laboratory Science and Technology 8 [Preventive Diagnostics]	LS8	WATANABE Mikio	Clarification of factors contributing to pathological conditions using genomic and epigenomic information and their clinical application.	

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP 研究室・部門 のページをご覧ください。

For research themes and contact information, please refer to the page of Research Laboratories and Departments on the website of the Division of Health Sciences, The University of Osaka Graduate School of Medicine.

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

保健学研究プログラム/Division of Health Sciences

分野 Area	研究領域[研究室名] Department[Research Field]	研究領域(願書記載時) Department (At the time of application)	氏名 Chief	研究内容 Research content
Area of M e d i c a l I n v e s t i g a t i o n a n d S c i e n c e a n d T e c h n o l o g y	医療検査技術科学 9 (睡眠医学) 〈連絡教員：高橋 正紀〉	検9	立花 直子 【関西電力医学研究所】	睡眠関連疾患に対する睡眠・覚醒モニタリングの研究
	Area of Medical Laboratory Science and Technology 9 (Sleep Medicine)	LS9	【Kansai Electric Power Medical Research Institute】 TACHIBANA Naoko	Research on sleep and wake monitoring for sleep-related disorders
	医療検査技術科学 10 (先進医療・臨床試験科学) 〈連絡教員：渡邊 幹夫〉	検10	山本 晴子 【国立循環器病研究センター】	脳・循環器領域を中心とした前向き介入研究の臨床研究 デザイン、評価項目の選定、データ解析に関する研究
	Area of Medical Laboratory Science and Technology 10 (Advanced Medicine and Clinical Trial Science)	LS10	【National Cerebral and Cardiovascular Center Hospital】 YAMAMOTO Haruko	Research on clinical trial design, selection of endpoints, and data analysis for prospective intervention studies focusing on the cerebrovascular and cardiovascular fields
	医療検査技術科学 11 (代謝可視化応用学 1) 〈連絡教員：辻川 元一〉	検11	新谷 泰範 【国立循環器病研究センター】	ミトコンドリア(チトクロムCオキシダーゼ)の活性化メ カニズムの解明と応用研究
	Area of Medical Laboratory Science and Technology 11 (Visualization and Applied Studies of Metabolism 1)	LS11	【National Cerebral and Cardiovascular Center Hospital】 SHINTANI Yasunori	Modulation of cytochrome c oxidase activity in mitochondria and its application
	医療検査技術科学 12 (代謝可視化応用学 2) 〈連絡教員：辻川 元一〉	検12	山本 正道 【国立循環器病研究センター】	マウス生体内のATP動態可視化技術による代謝解析の応用 研究
	Area of Medical Laboratory Science and Technology 12 (Visualization and Applied Studies of Metabolism 2)	LS12	【National Cerebral and Cardiovascular Center Hospital】 YAMAMOTO Masamichi	Visualizing ATP dynamics in live mice and its application
	医療検査技術科学 13 (コミュニケーション脳情報解析学) 〈連絡教員：高橋 正紀〉	検13	井原 綾 【情報通信研究機構 未来ICT研究 所 脳情報通信融合研究センター】	脳情報に基づく心的状態推定技術の研究開発
	Area of Medical Laboratory Science and Technology 13 (Brain Information Analysis for Communication Technology)	LS13	【Center for Information and Neural Networks, Advanced ICT Research Institute, National Institute of Information and Communications Technology】 IHARA Aya	Research and development of mental state estimation technology based on brain information
	医療検査技術科学 14 細菌情報学 〈連絡教員：岡本 成史〉	検14	山口 雅也 【医薬基盤・健康・栄養研究所 ヘルス・メディカル微生物研究セ ンター】	情報解析と実験を駆使し、細菌感染症と微生物叢の解明 を行う。
Area of Medical Laboratory Science and Technology 14 (Microbial Informatics)	LS14	【Microbial Research Center for Health and Medicine, National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition】 Yamaguchi Masaya	To understand bacterial infections and the microbiome, we use bioinformatics and experiments.	

臨床工学技士指導者育成プログラム/ Program to Nurture Trainers for Clinical Engineers

分野 Area	研究領域[研究室名] Department[Research Field]	研究領域(願書記載時) Department (At the time of application)	氏名 Chief	研究内容 Research content
看護 科 保 健	看護実践開発科学 7	看7	上野 高義	臨床工学に基づいた実臨床に結び付く技術の開発
	Department of Evidence-Based Clinical Nursing 7	AN7	UENO Takayoshi	Development of new technology based on clinical engineering
技 術 医 療 科 画 像	医療画像技術科学 13	放13	近江 雅人	臨床工学に基づいた実臨床に結び付く技術の開発
	Area of Medical Imaging Technology and Science 13	R13	OHMI Masato	Development of new technology based on clinical engineering
技 術 医 療 科 検 査	医療検査技術科学 15		調整中	
	Area of Medical Laboratory Science and Technology 15		under adjustment	

※「選考中」「調整中」の領域については、指導教員未定のため記載できません。
※Areas marked "under adjustment" cannot be listed because the supervisor has not yet been determined.